

ポーランドで活躍するジャズミュージシャン9組 23 人が大阪に集結！

全員で演奏する壮大な組曲を“世界初披露”！

Jazz From Poland In Japan 2025

<大阪:9月4日(木)~10日(水) 東京:9月11日(木)~13日(土)>



2025年9月4日(木)~10日(水)にかけて、大阪・関西万博にあわせてポーランドのジャズ界を牽引するトップアーティスト9組が来日し、ポーランドパビリオンや大阪市内のライブハウスでパフォーマンスするフェスティバル「Jazz From Poland In Japan 2025」が開催された。

中でも注目を集めたのが9月7日(日)、大阪・心斎橋 SPACE14にて行われたスペシャルライブだ。来日しているアーティストたちが一堂に会し、世界的な指揮者・作曲家であるニコラ・コウォジェイチクが本プロジェクトのために書き下ろしたコンサート形式組曲「Demonetized and non-eligible」を世界初披露した。

登場したのは、アガ・デルラク、Babooski、ドミニク・ヴァニャ、EABS、Hoshii、マチエイ・オバラ・カルテット、パウリナ・プシビシュ、サブ・シレント、トマシュ・ヒワ・クインテットの9組23名。ピアノ奏者だけでも5人、サクソやトランペット、バイオリニストにベーシストやシンガーも勢ぞろいし、交響楽団のように圧巻のステージに。各アーティストが織りなすサウンドは、重なり合い、引き立て合いながら、壮大な組曲を奏でていった。

このプロジェクトのために10曲を書き下ろしたニコラは、「この素晴らしいミュージシャンたちの才能を最大限に発揮できるように構成を考え、より発想の幅を広げて、特別な作品にしたいと思いました。彼らがどんなパフォーマンスをしてくれるか、想像しながら譜面を書きましたが、彼らはその想像を超えるパフォーマンスをしてくれました」とコメント。「万博という素晴らしい機会に、普通ではできないことが実現しました。最高のミュージシャン、そしてたくさんの温かいお客様に囲まれて演奏できたことは大きな喜びです。素晴らしいエネルギーを感じましたし、ここで演奏できたことを光栄に思います」と語った。さらにニコラは「ぜひポーランドに音楽を聴きにきてください。日本とポーランド文化は互いからインスパイアされる場所もあると思いますし、人生を広げる新しい発見が必ずあると思います」とメッセージを送った。

さらに、スペシャルゲストとして日本人バイオリニスト・石井智大が登場。石井は2024年にポーランドで開催された第6回ズビグニェフ・ザイフェルト国際ジャズヴァイオリンコンクールでアジア人として初の第3位に入賞した実力

派であり、その繊細かつ情熱的な音色で融合し、会場を大きく沸かせた。

石井は「こんなにも素晴らしいミュージシャンに囲まれてニコラさんの組曲を演奏できたことは夢のようでした」とコメント。「ニコラさんの曲は、決して簡単ではなかったのですが、それも軽々とこなして自分の音楽にしてしまう、アーティストたちの技量にも驚かされっぱなしでした」と振り返った。

ポーランドのジャズについて石井は「ドミニク・ヴァニャやマチェイ・オバラのような ECM からリリースをしているアーティストや、チャレンジングな音楽を届ける若いアーティストもいて、とても刺激を受けています。アメリカのジャズとは違う、独自に築かれてきた文化としてのジャズは、日本にも親しみやすいと思います」とコメント。「今回の経験を通して、ポーリッシュジャズを日本に広めるきっかけになれるよう頑張りたいです」と述べた。

終演後にはスタンディングオベーションが巻き起こり、まさに歴史的な一日の幕が閉じた。

この「Jazz From Poland In Japan 2025」は、大阪・関西万博の期間中にポーランド文化を促進するプロジェクトの一つであり、ポーランド貿易投資庁（PAIH）が実施。9月11日（木）～13日（土）は東京でも3公演が行われる。すべて入場無料（要事前予約）。

【演奏楽曲名】

組曲タイトル：「Demonetized and non-eligible」

- 1)Min-maxxing,
- 2)an unfortunate mixture of procrastination and oversight
- 3) nienależenie
- 4)Studo
- 5)irysy miętowe
- 6)trwała ondulacja
- 7)syn Svena
- 8)Flow
- 9)bi-polar bear
- 10)Science is magic with blinking lights

【公演概要】

■ニコラ・コウォジェイチク

世界的なジャズ・オーケストラの指揮者であり、ポーランドを代表する音楽家の一人。クラシックとジャズを融合した革新的アプローチで、ポーランドのグラミー賞とも称される「フリデリク賞（Fryderyk）」を複数回受賞している。



■スペシャルゲスト 石井智大

東京藝術大学在学中、ポーランドのジャズシーンに衝撃を受けジャズヴァイオリンに転向。2024年、ポーランドで行われた第6回ズビグニェフ・ザイフェルト国際ジャズヴァイオリンコンクールでアジア人初の3位入賞を果たす。

現在は東京を拠点にライブやレコーディングを中心に精力的に活動を行なっている。



【来日アーティスト プロフィール】

Aga Derlak (アガ・デルラク)

ピアニスト／作曲家。クラシックと即興を融合させた抒情的なサウンドが魅力。ポーランド・ジャズ界の新世代を代表する存在。



Babooski (バブーシュキ)

ジャズとフォークロア、エスニック・ミュージックを独自に融合する2人組。ボーカル・ハーモニーと儀式的なエネルギーが印象的で、彼女たちの演奏は音楽的な儀式(ミサ)のように聴く者を包み込む。



Dominik Wania (ドミニク・ヴァニア)

ECM レーベルからのリリースでも知られる現代ピアノの名手。知性と情熱が交錯する演奏は、世界の舞台で高く評価されている。無限の想像力を兼ね備えた彼の演奏は、ひとつの音で物語を紡ぎ出す。



EABS (エアブス)

ヒップホップやビートミュージックをルーツに持ち、伝説的作曲家コメダへのオマージュなども話題に。ポーランドの音楽シーンで最も革新的なグループのひとつ。歴史への敬意を持ちつつ、未来をしっかりと見据えたアーバン・ジャズ。



Hoshii (ホシイ)

ジャズ、エレクトロ、アンビエントを融合させる異色のプロジェクト。浮遊感と繊細なグルーブが、まるで夢のような時間を描き出す新鋭プロジェクト。日本語の「欲しい」に由来するグループ名も特徴。



Maciej Obara Quartet (マチェイ・オバラ・カルテット)

現代ヨーロッパジャズの中核を担うサックス奏者率いるカルテット。深い叙情とダイナミズムが交錯する、最先端のアンサンブル。



Paulina Przybysz (パウリナ・プシビシュ)

R&B/ネオソウルシーンで圧倒的な存在感を放つ女性シンガー。
フェミニズムや自己表現をテーマにした楽曲で、若い世代から熱い支持を受けている。



Sub Silento (サブ・シレント)

前衛的かつ内省的なサウンドを展開するユニット。
静けさと緊張感のなかに、強い物語性を秘めたサウンドスケープを描く。



Tomasz Chyła Quintet (トマシュ・ヒワ・クインテット)

バイオリンを中心としたユニークな編成で、即興と構築性を高次元で表現。現代クラシックとジャズの境界線を軽やかに越える気鋭のグループ。緊張感すら感じさせる演奏に注目が集まる。



【公演概要】

タイトル：Jazz From Poland In Japan 2025

-
- ① 9月4日～10日 大阪・関西万博 ポーランドパビリオン
毎日30分のアコースティックライブ
入場には万博のチケットが必要
詳細はポーランド館のサイトへ <https://expo.gov.pl/>

【大阪公演】

- ② 9月4日(木) 開場 18:30 開演 19:00



出演：Sub Silento／Babooshki

会場：BLUE YARD

③ 9月5日（金）開場：18:30 開演 19:00

出演：Aga Derak／Dominik Wania

会場：BLUE YARD

④ 9月6日（土）開場 19:00 開演 19:30

出演：Maciej Obara Quartet

会場：BLUE YARD

⑤ 9月7日 開場 14:15 開演 15:00

出演：Aga Derak / Babooshki / Dominik Wania / EABS / Hoshii / Maciej Obara Quartet /
Paulina Przybysz / Sub Silento / Tomasz Chyła Quintet / Nikola Kołodzielczyk

会場：SPACE 14

⑥ 9月9日（月）開場 18:30 開演 19:00

出演：Tomasz Chyła Quintet／EABS

会場：梅田 CLUB QUATTRO

⑦ 9月10日（火）開場 18:30 開演 19:00

出演：Paulina Przybysz／Hoshii

会場：梅田 CLUB QUATTRO

【東京公演】

⑧ 9月11日（水）1st show 20:00～ 2nd show 21:00～

出演：EABS

会場：ブルックリンパーラー（新宿）

⑨ 9月12日（木）開場 18:30 開演 19:00

出演：Hoshii

会場：晴れたら空に豆まいて

⑩ 9月13日（金）1st show 19:00～ 2nd show 20:00～

出演：Paulina Przybysz (vo) & Grzegorz Tarwid (p) duo

会場：Cafe, Dining & Bar 104.5

料金：無料（ただし要事前予約）

主催：ポーランド貿易投資庁

共催：ポーランド広報文化センター

後援：FM COCOLO / FM 802

協力：Jaz.in / JAZZ LIFE / WAY OUT WEST

コーディネーター：MKProject

「Jazz From Poland In Japan 2025」は、大阪・関西万博の期間中にポーランド文化を促進するプロジェクトの一つであり、ポーランド貿易投資庁（PAIH）が実施しています。



ポーランド広報文化センター
POLISH INSTITUTE TOKYO



Poland.
**Heritage that drives
the future**

【アカウント情報】

Instagram: https://www.instagram.com/jazz_from_poland_in_japan/

X: <https://x.com/PolandJazzJapan>

Facebook: Jazz From Poland In Japan

<https://www.facebook.com/profile.php?id=61574856268263>

【宣伝に関するお問い合わせ】

For further inquiries regarding this matter, please contact:

PR Mail jazzfrompolandinjapan@gmail.com

根本杏香 (tel) 090-4306 - 4755